

都市再生整備計画 事後評価シート
牛久市水と緑の里山地区

平成27年2月

茨城県牛久市

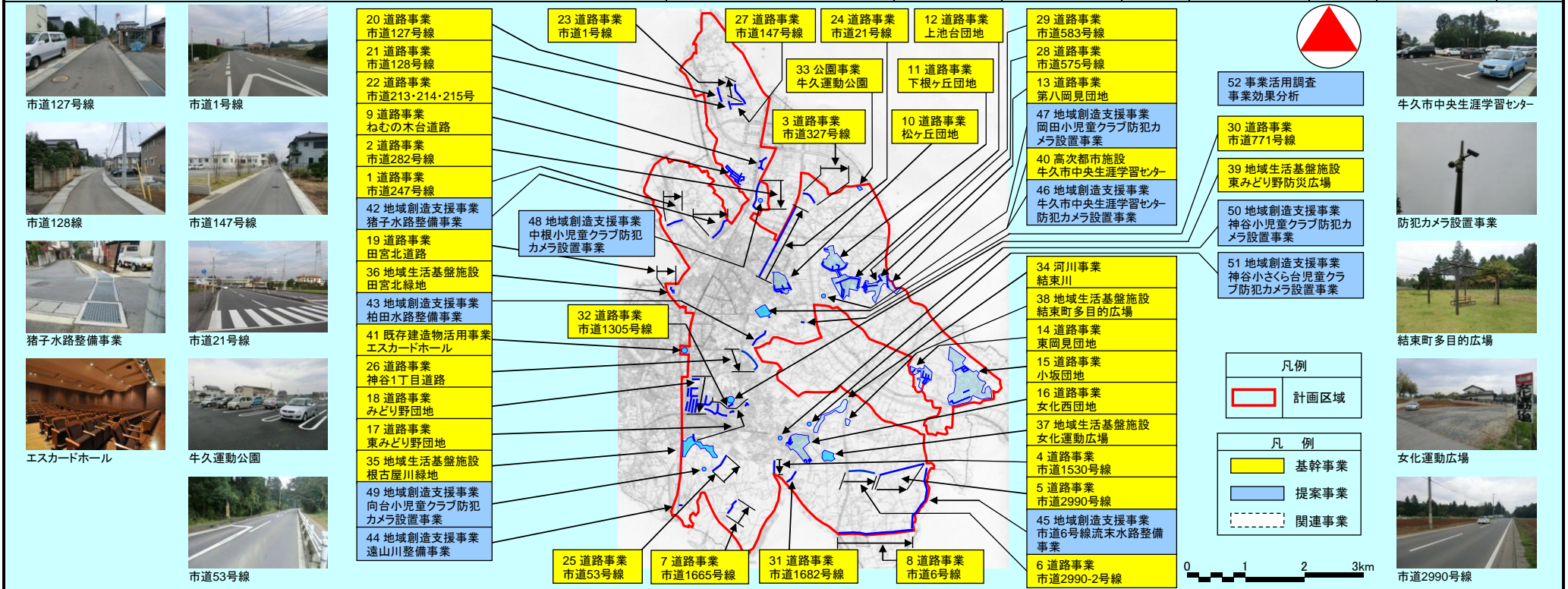
評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	牛久市		地区名	牛久市水と緑の里山地区			面積	2,443ha	
交付期間	平成22年～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	2,599百万円		国費率	0.4		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 【道路】市道247号線、市道282号線、市道327号線、市道1530号線、市道2990号線、市道1665号線、市道6号線、むむの不台道路、松ヶ丘団地、上池台団地、第八岡見団地、東岡見団地、小坂団地、女化西団地、東みどり野団地、みどり野団地、田宮北道路、【地域生活基盤施設】根古屋川緑地、田宮北緑地、女化運動広場、【高次都市施設】牛久市中央生涯学習センター 【地域創造支援事業】猪子水路整備事業									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】3・4・12駅東口柏田線、【地域生活基盤施設】中央地区ポケットパーク、牛久ステーションパーク			削除/追加の理由 【道路】他の整備計画に位置付けたことにより削除、【地域生活基盤施設】他の整備計画に位置付けたことにより削除			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 【道路】指標1に影響するが数値目標は据え置く、【地域生活基盤施設】指標3に影響するが数値目標は据え置く			
		提案事業	【地域創造支援事業】牛久運動公園駐車場整備事業、【まちづくり活動推進事業】中央地区環境マネジメント事業			【地域創造支援事業】提案事業から基幹事業に変更、【まちづくり活動推進事業】他の整備計画に位置付けたことにより削除			【地域創造支援事業】指標3に関連するが基幹事業として計画されるため影響はない、【まちづくり活動推進事業】影響なし			
	新たに追加した事業	基幹事業	【道路】市道2990-2号線、市道127号線、市道128号線、市道213・214・215号線、市道1号線、市道21号線、市道53号線、神谷1丁目道路、市道147号線、市道575号線、市道583号線、市道771号線、市道1682号線、市道1305号線、【公園】牛久運動公園、【河川】結東川、【地域生活基盤施設】①結束町多目的広場、②東みどり野防災広場、【既存建造物活用事業】エスカードホール			【道路】道路環境改善または雨水排水対策のため追加、【公園】提案事業から基幹事業に変更、【河川】雨水排水対策のため追加、【地域生活基盤施設】①市民が憩い集える空間確保、②雨水排水対策のため追加、【既存建造物活用事業】市民が憩い集える空間改善のため追加			【道路】指標1・2に影響するが数値目標は据え置く、【公園】指標3に関連するが提案事業として計画されていた事業であり影響はない、【河川】指標2に影響するため目標値を変更、【地域生活基盤施設】①指標3に関連するが公共施設利用者数の計測対象施設ではないため影響はない、②指標2に影響するが数値目標は据え置く、【既存建造物活用事業】指標3に影響するため目標値を変更			
		提案事業	【地域創造支援事業】柏田水路整備事業、遠山川整備事業、市道6号線末水路整備事業、防犯カメラ設置事業、【事業活用調査】事業効果分析			【地域創造支援事業】雨水排水対策のため追加、【事業活用調査】都市再生整備計画事業の効果分析のため追加			【地域創造支援事業】指標2に影響するが数値目標は据え置く、【事業活用調査】影響なし			
交付期間の変更	当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	道路要望箇所数	件/年	38	H21	30	H26	モニタリング	評価値	△	あり なし ●	H27年6月
	指標2	異常気象による被害件数	件/年	48	H21	30	H26	-	6	○	あり なし	H27年6月
	指標3	公共施設利用者数	人/年	433,373	H21	458,300	H26	-	444,815	△	あり なし ●	H27年6月
	指標4	保護者安心度	%	58.7	H23	64.5	H26	-	69.1	○	あり なし	H27年10月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	道路改良率	%	54.6	H21			-	57.6		道路整備事業の実施により、道路改良率が上がり、交通アクセス条件の向上が図られた。	H27年6月
4)定性的な効果発現状況	なし											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況						今後の対応方針等		
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

地区の概要

牛久市水と緑の里山地区(茨城県牛久市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:市民が安心して生活できる安全な生活基盤と、市民が憩える優良な生活環境を確保するためのまちづくりを推進する。	道路要望箇所数	単位:件/年	38	H21	30	H26	32	H26
目標1:道路整備により、交通アクセス条件の向上を図る。	異常気象による被害件数	単位:件/年	48	H21	30	H26	6	H26
目標2:近年の異常気象による集中豪雨等に対応する雨水対策を講じる。	公共施設利用者数	単位:人/年	433,373	H21	458,300	H26	444,815	H26
目標3:市民が集う公共施設の利便性向上を図る。	保護者安心度	単位:%	58.7	H23	64.5	H26	69.1	H26
目標4:小学校の放課後児童クラブにおいて、より安全・安心に活動できる環境を整備する。								



まちの課題の変化

- ・既存団地の道路の老朽化により、道路の破損等が多く見受けられ、市民生活に密着する道路環境が悪化していたが、道路舗装整備等により、道路環境が改善された。
- ・U字溝が長年の不等沈下等により、排水機能が低下し、近年の異常気象等による豪雨等に対応できなくなっていたが、U字溝改修等により、排水機能が改善された。
- ・未開発地区や既存集落等においては、道路排水等の整備が遅れており、整備が課題となっていたが、河川改修や水路整備、道路排水整備等により、排水機能が改善された。
- ・市民が集える催し物等に数多くの市民が参加できるように、公共施設の駐車場等の増設整備が必要となっていたが、牛久運動公園、女化運動広場、牛久市中央生涯学習センターの駐車場整備により、公共施設利用の利便性が向上した。
- ・少子化の流れが加速している中で、核家族化によって子育てに関する不安や悩みを抱えている家族も多く、地域全体での子育て環境づくりを進める必要があったが、小学校児童クラブ施設への防犯カメラの設置により、利用者の不安解消や安心度向上が図られ、子育て環境づくりが進んだ。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・既設団地等における良好な道路環境の確保:整備した道路の維持管理を実施するとともに、道路環境の改善が必要な箇所について早期の整備促進を図る。
- ・既成団地等におけるU字溝等の排水機能の確保:改修したU字溝の維持管理を実施するとともに、U字溝改修等が必要な箇所について早期の整備促進を図る。
- ・未開発地区や既存集落等における道路排水機能の確保:改修した河川や水路の維持管理を実施するとともに、河川改修や水路整備、道路排水整備等が必要な箇所について早期の整備促進を図る。
- ・公共施設における駐車機能の確保:整備した駐車場の維持管理を実施するとともに、駐車場整備が不十分な公共施設について計画的な整備促進を図る。
- ・市民のニーズに対応した公共施設の整備及び適切な維持管理や運営:老朽化した設備の計画的な整備・改修の促進や、市民のニーズに対応した管理運営方法の見直しを図る。
- ・小学校児童クラブ施設における防犯機能の確保:設置した防犯カメラの維持管理を実施する。
- ・子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場の提供:公共施設や保育園等の地域の身近な場所で、子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等を実施する。